

本物。品訪  
鹿児島県 特産 特探

2013かごしまの新特産品コンクール 鹿児島県観光連盟会長賞  
杉の器  
PLATE-M

ぼったりと丸みを帯びたフォルムが特徴的な杉のプレート。杉の柔らかかな木目を丁寧につなぎ合わせ、削り出すことで生まれるプレートは1枚ごとに違う表情を見せ、使う人を優しい気持ちにさせてくれます。  
霧島市牧園町のFUUGIの榮大貴さんにお話を伺いました。

ぬくもりを感じるプレートですね

杉の魅力を教えてください

今後の抱負を聞かせてください

杉にこだわって作っています。いろいろな国産杉で作っていましたが、今では木目が均一で、柔らかな印象に仕上がる奈良県の吉野杉に落ち着いています。

杉の板をつなぎ合わせるアイデアは、4年前に木工を始めた頃から持っていました。独学で始めたので、デザインから工程まで自分の頭の中だけで考え、3カ月ほど試行錯誤して試作品を完成させました。実際に作ってみると仕上げや耐久性など考えていたことと違って、今でもそのようなのですが、作ってみないとわからないことが多いですね。



最新作の「TROLL」のカップ(手前)と最初の頃に手がけた器(奥)。素材や作り方の変化を見てとれます。

杉の器は、使っているうちにつやが落ちてきて、落ち着いた自然な感じの風合いになります。無くても困らないものですが、使ってくれる人の生活が少しでも豊かになればと思います。



木のブロックから器を削り出す榮さん。「作業をしているときがとて楽しい」と話します。

杉は柔らかく、ゆがみやひびが入るなど手間がかかり扱いが難しい木材です。しかし、昔から家の近くには杉山があり、一番身近に感じる杉でもしろいことができたなら、杉の柔らかかな木目をつなぎ合わせることをコンセプトに始めました。

木目は一つ一つ違うので、つないで削る感触も最後の塗装の仕上げも1個ずつ異なります。イメージどおりできると、とても嬉しいですね。また、違う木目をつなぎ合わせていくのは、一人一人違う人たちがつながっていくことと似ているなと感じています。

試作を始めた当初、一枚の木から削り出すことにも挑戦してみました。イメージと違ったので止めてしまいました。加工技術などいろいろなことができるようになって再挑戦し、「TROLL」というカップを作っています。外側は凹凸のある木肌の風合いを残し、内側と口元は磨きをかけて滑らかに仕上げました。まだまだ課題があるので、工夫していきたいと思っています。

これからも杉にこだわって、さまざまな挑戦をしてみたいですね。



杉の器 PLATE-M  
価格 3,780円(税込) 直径22cm×高さ3cm

プレゼントコーナー

杉の器 PLATE-Mを1名様にプレゼント。

応募締切 平成26年10月31日(金)

応募方法 ハガキ、FAXまたは電子メールに

①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号

③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号を記入のうえ、下記までお送りください。

ハガキ宛先

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

FAX

099(286)2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

メール

h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。  
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

広告